

中丸小学校関係者評価委員会報告書

中丸小学校関係者評価委員会
委員長 細川太輔

<活動日程と活動内容>

令和7年度における中丸小学校関係者評価委員会は、下記の日程で活動を行った。

令和7年11月7日(金)	中丸小学校独自評価項目の策定
令和8年2月6日(金)	委員にて調査結果の考察
令和8年2月27日(金)	中丸小学校への提言作成

<調査結果の考察>

- ・5・6年生の学校評価を比較し、昨年度に比べて全体的に良くなっている。
- ・肯定的評価が増えている。

A 学校関係者評価の集計結果に関する考察と提言

(1) 児童(対象5・6年生)による学校評価より

昨年度と比較し、以下の項目が肯定的評価の増加が見られる。

- 1(3) 先生は、タブレットなどを活用し、わかりやすい授業をしている。
- 2(3) 「自分」と「友達」を大切にしている。
- 2(5) 安全に気を付けて生活している。
- 6(1) 学校が好き。

- ・どれも総合学習などで、一つのものを作り上げていく楽しさを感じているのではないかと。

昨年度と比較し、以下の項目が肯定的評価の減少が見られる。

1(2) 授業では、課題について自分で考え、友達と話し合ったり発表し合ったりする機会がある。

まずは、やってみようと思える環境づくり、若手教員を対象に行っている校内研修(わかば研)でお互いに授業を振り返ったり、研究し合ったりしている。教員がやりたいことができる風土や環境はある。自分たちで考えた分、責任もあるのでしっかりやらなくてという気持ちになる。引き続き工夫を続けてほしい。

(2) 保護者・地域による学校評価より

全般的に数値がよくなっている。

- ・引き続き、様々な方法で保護者が学校のことを理解し、興味をもってもらえるような工夫を続けてほしい。

B 自己評価（教職員）に関する考察と提言

どの項目も教職員の評価が概ね高かった。しかし、教育環境（校舎の暑熱対策）についてDやEが多くなっている。次年度、校舎中心に空調設備の更新工事と照明のLED化が予定されている。引き続き教育環境の改善に努めてほしい。

<総合所見>

今年度は、児童による評価、保護者・地域による評価が全体的によくなっている。引き続き工夫を行ってほしい。

学校関係者評価委員会 提言

①学校行事の工夫・改善

学校行事を通して、子どもたちが成長する。効果的、効率的な行事のあり方について工夫してほしい。

②地域や保護者の学校参加

地域行事などにも子どもが参加できるようになると地域の教育力が活用できる。引き続き地域との協力関係を保ち、地域で子どもが育てられるようにしてほしい。